

# 元町だより

11月特別号

令和3年10月29日  
京都市立元町小学校  
校長 田革 真由美



## 令和3年度 第1回学校評価のご報告

木々の葉も色づき、一段と秋の深まりを感じる頃となりました。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。9月末に実施した「学校評価保護者アンケート」「元町っ子アンケート(子ども)」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後よりいっそう推進すべき点や改善点について考察しました。以下に、限られた紙面ではありますが、ご報告させていただきます。

### 学校教育目標

夢と笑顔があふれる学校  
～共に学びあい 自らの手で 未来を切り拓く子どもの育成～

### 目指す子ども像

わかる子ども  
楽しみ大切にしあう子ども  
元気な子ども

### 概要

本校では、「夢と笑顔があふれる学校～共に学びあい 自らの手で 未来を切り拓く子どもの育成～」という学校教育目標を受け、今年度は「元町からの発信 -あなたへ、地域へ、そして未来へ- ~生活科や総合的な学習等を通して、自ら課題をもち、探し、発信する～」という研究主題で教育活動を進めています。「発信力」「論理的思考力」「情報の整理・分析」というキーワードを掲げ、子どもたちの「探求する力」を一層伸ばすこと目標に「様々な体験活動から自分で課題をもち、自分の言葉などで進んで発信できる子ども」を目指しています。

学校評価においては、学校教育目標の目指す子ども像に照らし合わせて、「わかる子ども」「楽しみ大切にしあう子ども」「元気な子ども」の目標に合うように評価項目を設定しました。また、学校教育目標の具現化を目指すために、教職員はもちろん、子どもや保護者の皆様についても自己評価をする形式をとっています。例えば、保護者アンケートでは、「～するようにお子たちにお声かけいただいているか」という表記にさせていただいています。

子ども対象の「元町っ子アンケート」は、今回から全学年オンラインで回答しました。ほとんどの項目で80%以上が「できている」と答えています。自分の行動を振り返り、がんばっていることを意識できる機会となったのではないかでしょうか。

保護者の皆様には、今年度は緊急事態宣言の発令が長期化となり、実際に学校での子どもたちの様子を見ていただく機会が少なく申し訳ありませんでした。「学校評価保護者アンケート」は回収率が92%でした。今回は紙プリントかオンラインかを選択して回答していただけるようにしました。結果は多くの項目で実現度が80%以上でした。これは、本校の教育方針にご理解いただき、ご家庭でもお子たちへの声かけや励ましをしていただいているからだと考えています。今後も学校と保護者が学校教育目標に向かって、協力し合って子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思います。

「教職員自己評価」については、ほとんどの項目が「できている」という結果でした。

今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては学校運営協議会でも取り上げて話し合いました。今後、保護者の皆様のご協力をいただきながら、一人一人の子どもを大切にした取組をしていきたいと思います。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

第2回学校評価は1月末に予定しています。

### ○学校評価(子ども・保護者・教職員)の結果

実現度は『よくできている』・『だいたいできている』を合わせた数値

	質問項目	子ども実現度	保護者実現度	教職員実現度
学校生活	1 学校で楽しく過ごす	88%	98%	90%
	2 進んであいさつをする	91	97	90
	3 「てまきでははは」を心がける	88	77	100
わかる子ども	1 授業中に学習のルールを守る	94	91	100
	2 授業や帯時間の学習に集中して取り組む	94	90	100
	3 家で宿題や自主学習などに進んで取り組む	88	93	90
楽しみ大切にしあう子ども	1 誰とでも仲良くする	94	95	100
	2 相手の思いや考えをよく聞いて大切にする	100	95	100
	3 相手の気持ちを考えて行動する	99	99	100
元気な子ども	1 自分の体や心を大切にする	95	100	90
	2 生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける	93	96	100
	3 進んで外遊びや運動をする	82	74	100
学校独自の取組（子ども）	1 図や絵や思考ツールを使って自分の考えを整理したりまとめたりする	83		
	2 進んで自分の考えを文に書いたり、発表したりする	78		
	3 コンピューターやタブレットを使って進んで学習する	98		
学校独自の取組（保護者）	1 子どもから学校での出来事などの話を聞く		95	
	2 子どもの宿題や学習ノート、学校からのお便りなどを見る		94	
	3 子どもが宿題などで分からない時には、辞書や本、コンピューターなどを使って調べるように声かけする		88	

## 主な成果と課題

### <学校生活>

「学校で楽しく過ごしている」と答えた子どもは88%でした。コロナ禍でいろいろな制約がある中、遊びも自由にできずに我慢している子も少なくないでしょう。子どもたち一人一人を学校全体で見逃しのないよう、注意深く見守っていきたいと思います。

「てまきでははは」については、88%の子どもが「できている」と答えています。保護者のかたの実現度は77%でした。ご家庭でも引き続き、感染症対策に心がけてください。

### <わかる子ども>

「授業中に学習ルールを守る」「学習に集中して取り組む」という子どもは94%で、昨年度と比べても実現度が高くなっています。学習規律が確立できていることは喜ばしいことです。

「家で宿題や家庭学習に進んで取り組む」という子どもは88%でした。本校では子どもが自ら課題を選択し、予習・復習に取り組むなどの学習計画を立て実行できるように、自主学習に取り組んでいます。学年発達に合わせて、内容や方法などを指導しています。高学年はGIGA端末タブレットを持ち帰ってデジタルドリルなどにも取り組んでいます。「継続は力なり」で、自主学習を続けること、学習内容を発展させながら「自律」を目指してほしいと考えています。

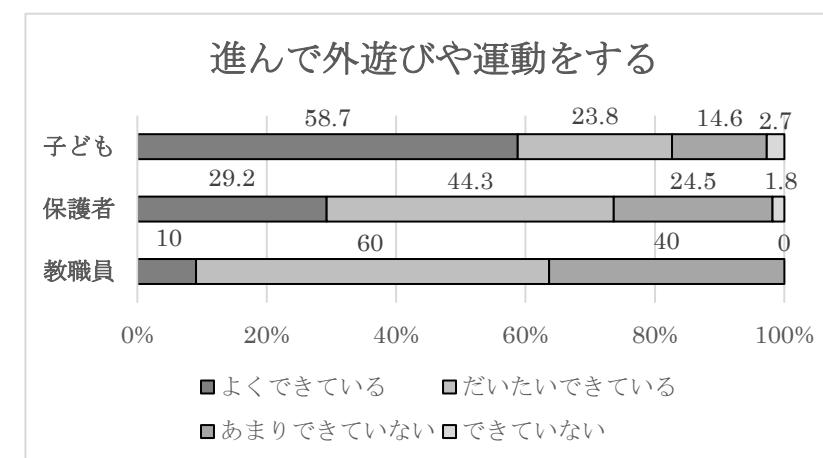
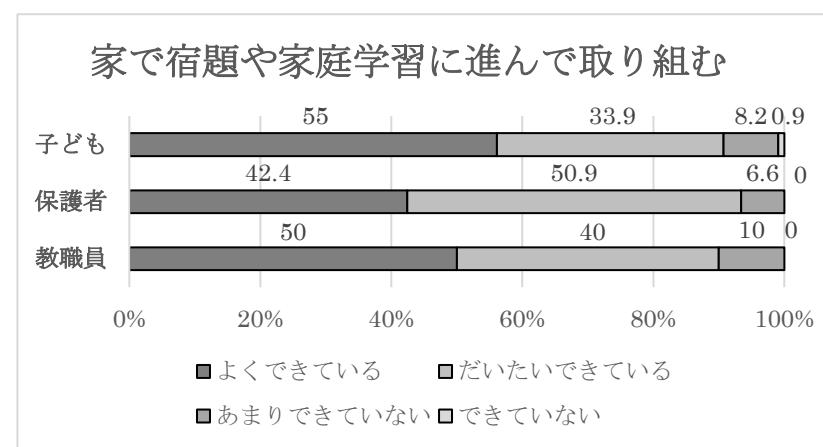
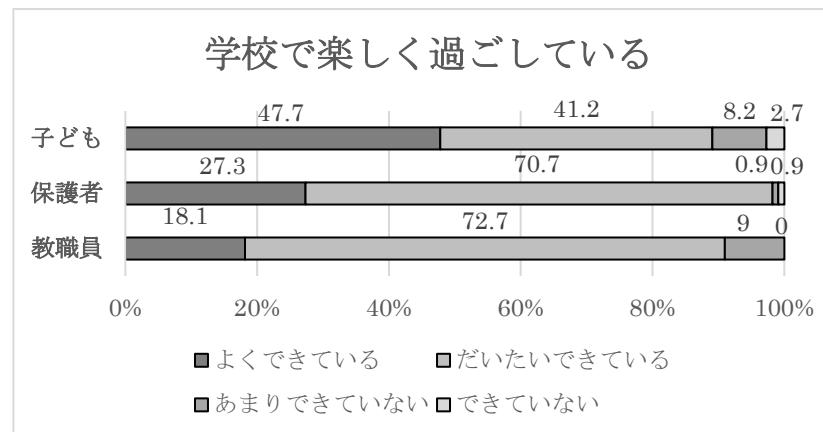
### <楽しみ大切にしあう子ども>

3項目とも、子ども・保護者の方の実現度は90%以上でした。本校の子どもたちが思いやりをもって人に接していることがよくわかります。毎月の朝会では、「人権の日・保健の日」としてテーマを設けて心身を大切にすることの大切さを学んでいます。緊急事態宣言がようやく解除され、異学年交流のたてわり活動も徐々に進めていきたいと考えています。11月には全校遠足を計画しており、たてわりグループでオリエンテーリングをしたり、遊んだりする予定です。今後も様々な活動を通して、人権を大切にする心を育んでいきたいと思います。

### <元気な子ども>

「進んで外遊びや運動をする」という子どもは82%でした。緊急事態宣言中、子どもたちはボールが使えず、工夫して遊んでいました。緊急事態宣言が解除され、やっとボール遊びができるようになり、子どもたちはうれしそうに運動場へ飛び出しています。免疫力を高めるためには、体力をつけることが大切だと考えます。

「生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける」という子どもは93%でした。今年度も給



食後の歯磨きをしていませんが、歯ツッピ一週間を設けたりしてご家庭で取り組んでもらっています。ご家庭でも、お子たちの健康に関心をもっていただいているおかげで、今年も京都府歯科医師会より、歯の検診結果や取組について学校表彰を受けました。今後も子どもたちの健康維持のため、引き続きよろしくお願ひします。

### <学校独自の取組(子ども)>

「進んで自分の考えを文に書いたり、発表したりする」ことができている子どもは78%でした。本校では子どもにつけたい力の一つである「発信力」を高めるために、自分の言葉で相手に伝えるということを大切にしています。授業では感染症対策をとりながら、ICT機器も活用するなどして、グループ交流などで自分の意見を発表する機会を設けています。「コンピューターやタブレットを使って進んで学習する」という子どもは98%でした。毎週火曜日に「もっともっとタイム」を設定し、タブレットを使い、タイピング練習や思考ツールやデジタルドリルに取り組んでいます。子どもたちはICT機器を使用することは楽しいようです。

### <学校独自の取組(保護者)>

「子どもから学校での出来事などの話を聞いていただいている」という項目の実現度は95%でした。お子たちから学校での様子を聞いていただくことで、お子たちの成長や困りに気づかれることもあることでしょう。「家では学校のことをあまり話してくれない」という保護者の方の声を聞くこともあります。学級だよりやホームページをご覧いただき、ご家庭での会話のきっかけとなればと思います。子どもが自分の言葉で伝えられることが一番だと思います。

### 自由記述より

○学校教育目標を具現化することはとても重要で、是非ともそのために協力できることは家庭でもしていただきたいと思います。ただ、その具現化は保護者が声かけをする事でできるのではなく、大人が手本を示すことで、子どもたちが身に付けていくことだと思います。

⇒いたいたいたご意見の通りです。声かけだけでなく、手本を見せることが大切です。もちろん教職員も、子どもたちによい手本を見せられるように、自己研鑽に努めます。この学校評価アンケートをすることが子どもたちも保護者の方も教職員も、自らの意識や行動をふり返る機会となればと考えています。

○中止や規模縮小になった行事の代替などを考えていただけると有難いです。子どもたちがあきらめがちたり前とならない雰囲気を見い出してほしいです。

⇒今年度も5・6年生が予定していた「花背山の家宿泊学習」が中止となりました。5年生は昨年も「みさきの家宿泊学習」が中止となっています。子どもたちだけでなく、保護者の方も残念に思われていることだと思います。高学年としてリーダー性を育てるために、行事の取り組み方なども検討しています。よいアイデアなどがありましたら、ぜひお聞かせください。

○自宅待機となった場合でも、子どもたちの教育を受ける権利を保障する方法を考えてほしいです。

⇒一人1台のGIGA端末タブレットが支給され、オンラインでの学習が可能となりました。以前、「元町小学校のオンライン学習について」でもお知らせしていますが、もしもの時は、状況に応じて個別に対応させていただきます。ご不明な点がございましたら、学校までご相談ください。

### 学校運営協議会より

今回の学校評価アンケートの結果については10月21日(木)の学校運営協議会にて、理事の皆様からご意見を頂戴しました。

「ICT機器を使えるようになることも必要だが、漢字の書き取りなどアナログ的な学習も大事だと思う。」「元町の子どもたちのいいところを伸ばしてほしい。」などのご意見が出されました。今後必要となるべくあろう学校教育のモデルチェンジについて、学校運営協議会としても子どもたちの学校生活の様子をできる限り参観し、学校と一緒に知恵を出し合って参画していきたいという貴重なご意見もいただきました。

いただいたご意見をもとに、今後も学校と家庭と地域が同じ姿勢で子どもたちを育てていきたいと思います。ご支援・ご協力をよろしくお願ひします。